



21世紀



学校教育目標：心豊かで たくましく生きる子どもの育成

令和6年9月4日

2学期が始まりました

9月2日（月）の2学期始業式には、16名全員の元気な姿が揃い、校舎に子どもたちの明るい声が戻ってきました。

始業式の「校長先生のお話」を少し紹介します。

まずは、夏休みのふり返しです。

1学期の終業式に「自分で創る夏休み～自分で考えて、自分で決めて、やってみる～」と子どもたちに伝えていたので、どうだったか聞いてみました。



複数の児童が、該当する取り組みに手を挙げてくれました。ご家庭での温かい見守りや協力のもと、子どもたちの成長の場を作ってくださったことに、感謝します。ありがとうございます。

後閑小学校では、今後も、自分で考えて、決めて、やってみることを通して、子どもたちの主体性を育みたいと思っています。そのためにも、子どもが「自分で選択する」場面を多く作りたいと考えています。

結果よりも、主体的に取り組む、主体的に関わるプロセスに価値があり、そのことを大人がしっかり認めて褒めることが大切です。学校だけでなく、家庭も同じ方向を向いて、子どもに関わることができればと思いますので、ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

そして、2学期も「いきいき、わくわく、みんなで創る後閑小学校」を合言葉に、運動会、学習発表会、校外学習、修学旅行などの大きな行事に取り組んでいこうと話しました。

運動会や学習発表会など、保護者はもちろん、地域の方、大勢にご参加いただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。